

問題【社会】

南アメリカ州に関する問題です。次の問いに答えなさい。

- (1) 世界一の流域面積を持つ川は？
- (2) 南アメリカ大陸の太平洋側を南北に連なる山脈は？
- (3) ブラジルで多く話されている言語は何か。
- (4) 森林を切りひらき、燃やした灰を肥料にして行う農業を何というか。
- (5) 経済の発展と環境保護の両立を目指した開発を何というか。
- (6) 日本とブラジリアの時差を求めなさい。ただし、日本は東経135度を、ブラジリアは西経45度をそれぞれ標準時子午線とし、サマータイムはないものとする。

豆知識 雑学コラム

遠い？身近？地球の裏側

日本から南アメリカ州を見ると、まさに地球の裏側に位置しており、大変遠くにあります。しかし、かつては多くの日本人が仕事を求めて、南アメリカ大陸へと渡っていきました。近年ではその移民の子孫が日本に働きにきています。そういう意味では身近な地域なのかもしれません。

南アメリカでは、16世紀にスペイン人とポルトガル人によって、先住民の国がほろぼされました。ブラジルはポルトガルの植民地になったため、ポルトガル語が話されています。また、ブラジル以外の大部分はスペインの植民地になり、これらの地域ではスペイン語が話されています。さて、時差の求め方ですが、コツをつかめば簡単です。

※求め方のポイント

- ① 経度差15度につき、時差は1時間生じる。
- ② 東経A度の国と西経B度の国の時差を求めるときは、 $(A + B) \div 15$ で計算する。

日本は東経135度、ブラジリアは西経45度なので、 $(135度 + 45度) \div 15 = 12$ つまり時差は12時間です。ポイントを知っておくだけで簡単に解けますね。ちなみに、飛行機でどれくらい時間がかかるかというと、2020年現在、日本とブラジル間で直行便がないため（途中で飛行機の乗り換えが必要なため）、30時間前後かかります。やっぱり遠い（笑）。

【解答】

- | | |
|------------|-------------|
| (1) アマゾン川 | (5) 持続可能な開発 |
| (2) アンデス山脈 | (6) 12時間 |
| (3) ポルトガル語 | (4) 焼畑農業 |
| (1) アマゾン川 | (5) 持続可能な開発 |